

ハルニレ

11期のめあて（6月6日～10月6日）「学習に集中しよう」

江別市立大麻小学校
江別市大麻宮町2番地
tel 011-386-5301
学校だより NO. 5
令和4年7月21日



「江別市平和の集い」～一人一羽の折り鶴に願いを込めて～

校長 鈴木 直道

昭和30年代生まれの私が幼少の頃、終戦は遠い記憶ではなく、まだ手を伸ばせば指先に触れる・・・そんな時代であった気がします。私は小学生の頃、三石という海辺の町に住んでいました。若い女性の方が自宅で近所の子どもたちを相手にピアノを教えており、私も時折お邪魔していました。ある夏の日、先生のお宅の仏壇にある白い布の包みに目が留まりました。「あの白い包みはなあに？」何気なく聞いた自分に、先生はいつもの穏やかな笑顔で話されました。「わたしのお父さんは、小学校の校長先生をしていたの。戦争がもうすぐ終わるっていう日、突然学校の目の前の海に潜水艦が現れて。お父さんの学校を砲撃して。あの白い包みの中にはその時お父さんの頭の中から出てきた砲弾の破片が入っているの。」傍らでは静かに先生のお母様が縫い物をされていました。9歳の私は返す言葉がありませんでした。時が流れ、私は教職につき30歳を越えた頃、街の書店で偶然見かけた本に次のような記述を目にし、子どもの頃のあの夏の風景と会話をはじかれたように思い出しました。

～昭和20年8月1日、鶴苫国民学校（児童数267名）はアメリカ潜水艦の砲撃を受け、執務中の桜田章賢校長が即死、他負傷者1名を出す。記録をもとに学校を訪ねると、桜田校長の写真は校長室に歴代校長とともに掲げられていたが、職員も子どもたちも空襲で犠牲になった人だということは知らないらしい。履歴書によると桜田校長は前年の6月、三石町より転任してきた。奥さんの巴さんも助教諭として教鞭をとっていたが、8月1日をもって退職し、家族はすぐに鶴苫を離れたらしい。～（「北海道空襲」北海道新聞社：1995年発行 菊地慶一著より抜粋）

終戦の夏、北海道全域で艦載機による空襲、艦砲射撃があり、二千人以上が犠牲になりました。江別市も7月15日、木製戦闘機を製造していた王子航空機工場や野幌付近の旅客列車、発電所等がロケット弾、機銃掃射による攻撃を受け、6歳の少女、赤ちゃんのお世話をしていた35歳の女性をはじめ、4名の死者、13名の負傷者を出しました。市では戦没者を追悼し平和を祈念する日として、平成27年より市役所正面にある「平和の碑」の前で、「江別市平和のつどい」を開催しています。今年度、3年ぶりに開催された平和のつどいに向けて、全校児童一人一人が平和への思いを込め、折り鶴を折りました。当日は、本校と豊幌小の児童が江別市の小学生を代表し、江別市副市長に折り鶴を手渡しました。折り鶴は広島市の平和記念公園にある「原爆の子の像」に捧げられます。

終戦から77年。私が子どもの頃は、周りの大人たちや学校の先生も兵役や戦争を体験された方がまだ多く、たくさんの経験を聞かされて育ちました。私の父も中島飛行機武蔵野製作所でB29による東京初の高高度爆撃を受け、その後の焼夷弾による下町の空襲、戦中戦後の混乱を生き延びた人でした。叔父は今も沖縄の海の底深く眠っています。

原爆の日。終戦記念日。中高生でも答えられない子が多くなっていると聞きます。つどいの最後には、大麻高校生徒の代表が、自分が自分らしくあることのできる世の中の大切さを訴えました。日々、時は遠くなります。保護者の皆様が伝え聞く話等があれば、是非子どもたちに聞かせてあげてください。国際紛争や非道な銃撃の映像が連日流される今、当たり前ものではない、守るべき平和の大切さを教えてあげてください。

これからの社会“Society 5.0”は、「AIにより必要な情報が必要な時に届く豊かな社会」とされています。しかし、AIからではなく、我々が父母や祖父母から伝えられたように、人が願いや思いを持って、伝え繋ぐ言葉も大切だと思います。



情報モラル講演会 7月14日(木) 5・6年生

NTT 東日本の☆☆☆☆氏を講師に招き、スマホやゲーム機など、インターネット利用に潜む危険や個人情報の扱いなどについてお話をいただきました。

夏休みにはこれまで以上にインターネットに触れる機会が増えると思います。家庭での約束や付き合い方について確認していただきたいと思います。

※本日、関連した内容のプリントをご家庭に配付いたしましたので、参考にさせていただきたいと思います。また、お時間ございましたら、QRコードからアンケートにお答えいただけますと幸いです。ご協力よろしくお願いたします。



トレセン(宿泊学習) 7月4日・5日: 5年生

5年生は、この行事を成功させるために仲間と協力して準備作業を進めてきました。当日はネイバル深川での焼き板制作やキャンドルサービス、B&G 砂川でのカヌー・ローボート体験など貴重な経験や楽しい思い出を作ってきました。たくさんの素敵な笑顔が見られた2日間でした。



充実した夏休みに

明日7月22日(金)から26日間の夏休みが始まります。学校が休みのため、時間の使い方が大事になります。毎日を大切に過ごしてください。ご家庭でも再確認とご指導をお願いします。

- ・生活リズムを整え、体調管理や怪我や病気の予防
 - ・感染症や熱中症の予防
 - ・水の事故や交通事故 ※自転車の乗り方
 - ・校外での遊び方
※行き先・帰宅時刻・金銭の使い方、公園のルールなど
 - ・ゲーム、スマホ、パソコンなどのルール
- 「休み中のくらし」を確認し、充実した夏休みにしてください。

夏季休業期間における学校閉庁日のお知らせ

～電話・来校に対応することができません～

学校における働き方改革の取組の一つとして、江別市の全ての小中学校で「学校閉庁日」を設定しています。本校では、下記のとおり学校閉庁日を設定することとしましたので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。学校閉庁日には、教職員は出勤しません。万が一、命に関わるような事故や事件に巻き込まれた場合など緊急の連絡が必要な時には、緊急連絡先(110番や119番等)に連絡してください。

学校閉庁日 8月10日(火)・12日(木) 15日(月)

江別市の働き方改革に伴う学校閉庁日の取組につきましては、下記HPに掲載されています。機会がありましたらご覧ください。
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/kyouiku/68475.html>

学校でのいじめに悩んだら、心配な友達がいたら、

いつでも話を聞きましょう

通話料無料になりました

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

各教育委員会等によって運営されている、全国共通のダイヤルです。

8月の行事予定

1日 月	PTA 資源回収
2日 火	
3日 水	
4日 木	教育講演会(江別市民会館)
5日 金	
6日 土	※8月は土曜開放ありません 土曜開放なし
7日 日	
8日 月	
9日 火	
10日 水	学校閉庁日
11日 木	祝日 山の日
12日 金	学校閉庁日
13日 土	土曜開放なし
14日 日	
15日 月	学校閉庁日
16日 火	転入生受付(13:30~)
17日 水	B日課 全校夏休み作品展(~22日) 夏休み図書返却週間(~24日) 花壇手入れ週間 交通安全指導
18日 木	心の教室
19日 金	ALT
20日 土	土曜授業(3時間) 保護者引き渡し下校訓練
21日 日	
22日 月	B日課 クラブ③ 校外巡視期間(~27日) ALT 心の教室
23日 火	ふれあい合同レク
24日 水	
25日 木	修学旅行(6年)1日目 心の教室
26日 金	修学旅行(6年)2日目 ALT
27日 土	土曜広場(申込者) 土曜開放なし
28日 日	
29日 月	午前授業(長休み10分短縮)給食あり 学年作品展(1・4年) ALT
30日 火	ALT 心の教室
31日 火	B日課 防災教室(2年・4年)



今後の教育活動・予定について~ご確認ください~

今後も、継続して感染症対策を施しての教育活動を進めて参ります。感染状況に応じた対応により、予定の変更が生じる場合がありますので、ご理解ください。

【学習支援日・希望者のみ】

7月25日(月)~27日(水) 午前

※参加申込は締め切っています。

- ・悪天候等で実施できない場合は、7時頃一斉メールを配信します。
※参加児童以外の全ご家庭に配信されますのでご了承ください。
- ・参加できなくなった場合は、電話連絡をお願いします。
※事前連絡がなく参加していない場合は、学校から確認のための連絡をいたします。

様々な悩みや相談を聞いてくれる窓口があります。

左に紹介したダイヤルは「いじめ、不登校、友人関係、親子関係、LGBT、性被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事」など様々な悩みを相談できます。

他にも

北海道いのちの電話 : 011-231-4343
の窓口もあります。

24時間対応で様々な悩みを相談できます。